

1 実施方法

学校関係者評価委員会（学校評議委員会）に、自己評価の結果を資料として示し、本校の自己評価が適切に行われているかどうか、また、教育活動全般における取組が適切かどうか等について評価を受けた。

2 実施日時

3月 6日（木） 14：00～15：00

3 学校関係者評価の結果（所見および指導助言）

- （1）生徒は笑顔が多く、よく挨拶をする。素直に育っていることを実感する。
- （2）川棚高校は今年が正念場。町からの補助金をありがたく思って川棚高校へ入学してきた家庭が結構あるように聞いている。
- （3）最近の高校生は自分で考える部分が衰えてきているように感じる。考える力を育てて欲しい。
- （4）郷土の講師として、川棚町にも環境カウンセラーや元南極観測隊員等複数の優秀な人材がいるので活用してほしい。
- （5）川棚高校の生徒はどのような進路選択をしているのか。
- （6）自身の子どもに対してもそうであったが川棚高校は生徒一人ひとりに合った進路指導をしてくれている。
- （7）中高連携について生徒の体験活動については川棚中学校でもぜひお願いしたい。高校生から勉強を教えてもらいたい。
- （8）家庭学習の定着は中学生も課題となっている。スマホ等の家庭のルールを保護者が守らせることができていない。
- （9）思いやりのある生徒が育っている。先日近所で交通事故が発生した際に川棚高校の野球部の生徒が交通整理等、率先して手助けをしてくれた。
- （10）（本校ホッケー部の運営について）これまで以上に周囲からの支援を受けられるようにするために、漫画の題材にしてもらうなどして、ホッケー競技をよりメジャーに出来ればと考える。郷土出身の漫画家に掛け合ってみたい。

上記の所見及び指導助言に対して以下の確認を行った。

- （Ⅰ）学び直しや個別最適な学びのサポート等、子どもたちの主体的な学びを支援するために、スタディサプリを導入している。今後も活用率の向上等に向けて研修を重ね、子どもたちの主体的な学びをサポートしていきたい。（（3）、（8））
- （Ⅱ）本校生徒の進路は多岐にわたっており、多様な進路選択が可能である。少人数できめ細やかな指導ができるのは川棚高校のメリットである。（（5））
- （Ⅲ）中学校での体験活動や郷土講師については是非活用させていただきたいと考えている。（（4）、（7））
- （Ⅵ）ホッケー部の運営については本校が抱える課題の一つ、漫画家の件も含め今後とも助言を賜りたい。（（10））